



リアトリスを摘む農家
これからが最盛期。

つなまち

NO.171 2008.7.18 JULY

津南町 6月の花



シャクヤク



マーガレット



ジャガイモ



タニウツギ



キュウリ



ドクダミ



アジサイ

6月定例議会 6/10～12

条例改正	②
請願・陳情・意見書	③
一般質問(10名)	④
補正予算	⑨
議会報告会紹介	⑩
シリーズ 私もひと言	⑫

請願 (4件) 陳情 (3件) 意見書提出 (5件)

■「新潟県最低賃金額の引上げ・抜本改正を求める意見書」
賛成多数 (12名)
提出先
内閣総理大臣
厚生労働大臣
要旨
地方最低賃金の改定にあたっては、生活保護基準を下回らないようにすること。また現行の生活保護水準の引き下げを行わず、維持・改善を図ること。

■農業基盤整備への責任ある配慮を求める意見書
全員賛成
提出先
衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣
内閣官房長官・財務大臣・農林水産大臣
経済財政政策担当大臣
要旨
国営事業により造成された基幹的な農業水利施設の管理や更新事業は、その重要性に鑑み、引き続き国の責務として国が自ら着実に実施すること。

※ミニマムアクセス米：93年ウルグアイラウンド農業合意によって日本が最低限輸入しなければならない米

食料危機 日本がするべきことは (写真提供 農民運動全国連合会)



■ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書
全員賛成
提出先
内閣総理大臣
農林水産大臣
要旨
ミニマムアクセス米の輸入を停止し、制度見直しをWTO交渉の場で強力に働きかけること。

■へき地級地見直しに関する意見書
全員賛成
提出先
新潟県人事委員会
新潟県教育委員会
要旨
へき地級地見直しにあたっては、へき地の実情を考慮し、へき地教育の振興と教育の機会均等を保障する見直しが行われることを要望する。特に山間部の積雪の状況等については十分考慮することを強く要望する。



細やかな教育が可能になるために

■30人以下学級の実現、義務教育費の国負担率2分の1復元をはじめとする教育予算の充実を求める意見書
全員賛成
提出先
総理大臣・財務大臣
文部科学大臣・総務大臣
要旨
30人以下学級の実施をはじめ、地域に根ざした教育の推進などの教育課題に対応するために義務標準法を改正すること。地域の事情や子どもの実態を考慮した弾力的な教職員加配を行うことなど。

■後期高齢者医療制度の中止・撤回の意見書を国に提出することを求める請願
賛成少数 (6名) 不採択
要旨
新たな後期高齢者医療制度は、中止・撤回することなど。

■過剰な農業取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情
賛成なし 不採択
要旨
有機栽培適合確認資材の許認可の緩和を早急に実施し、適正な植物有機資材業者を復帰、許可し、有機栽培に使用できるように関係機関に通知することなど。

条例の改正・制定・決まったこと



在宅介護手当が下がったが…

◆津南町在宅介護手当支給条例の一部改正
賛成多数 (8名)
7月より、介護手当の支給額がおおむね30%減額されます。

◆津南町営住宅の条例の一部改正
◆津南町特定公共賃貸住宅条例の一部改正
◆津南町特定住促進公共住宅条例の一部改正
全員賛成
3議案ともに、町営住宅及び公共住宅への暴力団の入居を阻止、または明け渡しを請求することが出来るよう改正しました。



守ろう安心の居住環境・美雪町町営住宅

◆津南町税条例の一部改正
賛成多数 (12名)
公的年金からの特別徴収制度の創設や、ふるさと納税の規定整備及び住宅ローン住民税控除の猶予規定などが追加されました。

◆津南町手数料条例の一部改正
全員賛成
戸籍謄本及び抄本の請求が特定な第三者 (弁護士など) も請求できるようになります。



さあ～、ひまわりの出番だよ

◆十日町地域広域事務組合規約の変更について
全員賛成
松代・松之山の消防分遣所の統合に関する、土地取得に要する経費の当該施設所在の関係市町が負担することについて。

◆人権擁護委員候補者の推薦について
高橋芳子さん (十二ノ木、60歳) を推薦しました。
保育士資格者・児童福祉士任用資格・児童家庭相談業務研修過程終了

◆農業委員の推薦について
宮沢由美さん (赤沢、41歳) を議会で推薦しました。

半戸 哲郎 議員

学校統合には充分な話し合いと理解を

町長…地域住民と保護者の声を尊重する

答申に沿った学校統合を進めるのか

問 答申について町長はどのような捉えているのか。

町長 意見交換会やアンケートを実施した結果として検討された答申は基本的に妥当な内容である。

問 9月議会に条例改正を上げするのか。

町長 9月議会までに地域学区民の意見を聞きながら判断したい。必ずしも、9月にということではないが、2年後の統合となると9月に条例改正をしなければならぬ。

問 話し合いに町長自ら出向き、町として誠意を見せていただきたらどうか。

町長 保護者の意見も注視していただきたい。地域の方々の意見が統合の延期、又は、学校存続という結論になつたらどうするか。

町長 かつして統合を急いでいる訳ではない。地域の方々の意見がそのようなのであれば、それを尊重しなければならぬ。

問 統合される津南小学校の児童保護者の理解も重要な問題でないか。

教育長 不安があることは当然である。不安を解消するために、子供たちの交流会、保護者の交流会等を実施したい。又、話し合いをしたいということであれば、いつでも出向いて話し合いをする。

町長 過去の学校統合で私も大変辛く寂しい思いをしてきた。地域において、さまざまな意見があるが、子供を抱えてい



複式解消授業（単年学習）

高橋 孝男 議員

津南病院と十日町病院問題について

町長…十日町病院は地域中核病院の役割を

十日町病院は県立病院として継続を

問 田口十日町市長は、新十日町病院を厚生連ありきで進めている。津南病院の運営を考え、自治体病院開設者として再考を促すべきであるが町長の考えはどうか。

「県立であるべき理由」

- ①自治体病院として行わなければならない医療がある。
- ②①のため国からの交付税がある。
- ③医療は採算性のみ追求できない。
- ④民営では採算がとれないと縮小である。
- ⑤十日町病院は黒字病院で問題はない。
- ⑥医師確保で厚生連に優位性があるとは思わない。

町長 私の認識では県の方針として公設民営と思う。十日町病院は地域中核病院として役割を果たして欲しい。しかし、豪雪地の病院こそ自治体病



どうする地域連携（津南病院）

町長…大規模農家は自立している

大平 謙一 議員

苗場山麓事業償還金の軽減を

畑作は厳しい経営、償還者の高齢化も問題

問 今回の繰上げ償還者とその金額はどのようになるのか。

町長 227人で3億1千218万円になる。

問 償還継続者と金額は。

町長 第一地区227人、第二地区329人で、60歳以上者が、第一は79人、第二で139人。未償還金は、第一は8億1千500万円、第二は17億1千980万円であり町は数々の軽減策をとつてきている。後継者の有無はわからない。500万円以上残償還金は第一が18人、第二は50人である。

正面地区の水問題解決は行政の責任

問 正面の水問題は過去数人が質問しているが解決されたとはいえない。大割野に次ぐ大集落の防災上の問題でもある。どのような対策をしているのか。

町長 防災対策に重点をおいている。防災対策物からの配置基準は



手間のかかる畑仕事

国道・県道の今年度予算は

問 国道大倉トンネルや町内の国県道の道路整備は。

町長 大倉トンネル掘削、内部まきたて等で前年度比25%増の内示をいただいたが、貫通まではいかない。

小・中学校の耐震化と統合問題

問 町内の小、中学校の耐震化はどうなっているのか、統合問題での説明会は。

教育長 町内の小、中学校の78.1%が耐震基準をクリアしている。説明会は要望がある地域に出向く。

ヘルパー養成研修

問 2級ヘルパー養成研修を町で実施を。

町長 町でも社協でも行わない。民間で行うので希望者は受講してほしい。



掘削工事の大倉トンネル

福原 照男 議員

国道大倉トンネルに6億円

町長…早期開通を要請している

河川整備はどうか

問 信濃川等1級河川整備とその考えは。

町長 飯山〜中里(宮中)間を国直轄管理を要請していく。

藤木 正喜 議員

新たな街づくりのために特区の計画は

町長：現時点での計画はない

なかなか進まない
町民との協働

問 ①「まちづくり交付金」を使ってのコンパクトシティ構想は。②NEDO（補助金）と連動して水力発電、自然エネルギー発電事業などの計画は。③NPOによる有償ボランティア輸送や里山における食と農、自然を活かす地域再生計画は。

以上の計画・実行をするために津南町から真の町民との協働として発信・スタートしていただきたい。

町長 地域づくりにはさまざまな事業が想定されるが、その事業を実施するためには何の規制が障害となつて出来ないのか等、事業ごとに精査し、必要であれば申請することとしているが、現時点での構造改革特区の計画はない。

問 大きな投資をした広報無線であるが使用基準が行政放送及び災害通報が中心であり民間への活用がされていない。地域おこしで頑



新しい街づくりが望まれる中心地

張っている団体の案内などは放送してもいいのではないかと。町長 目的を逸脱した電波の使用は抑制され、放送する内容もある程度制約されるが、営利目的でないものについては担当と相談していただきたい。

※NEDO：日本の産業、環境技術とエネルギーの研究開発、普及を推進する機関

伊林 康男 議員

生活交通体系の構築について

町長：地域交通の活性化・再生を図る

交通は地域の足とし
利便性が第一

問 過疎化、少子高齢化、自家用車の普及等により、中山間地における地域公共交通体系は変革を余儀なくされており、その対応解決は喫緊の課題である。津南高校の廃校にともなう町内外への通学や高齢者の通院、諸手続、買物等の移動制約者にとって利便性の高い交通システムが望まれている。「津南町生活交通確保計画策定」と「地域公共交通活性化・再生総合事業」との整合性について、どうお考えか。

町長 生活交通確保計画は県単の補助事業で地域の関係者から幅広い意見を聞き計画するバス路線を補助対象とするものであり、地域公共交通活性化・再生総合事業は、国土交通省から本町も認定されたものであり、地域住民にとって利便性のある調査事業や、その後の立ち上りを支援するもので整合性はとれていると認識している。



喜ばれる公共交通体系を

計画策定後の運行は

問 今後の津南町交通体系は。町長 移動制約者、交通弱者の交通を確保すること。町の賑わい創出の為に来訪者の自由な移動システムの構築である。

藤ノ木 浩子 議員

津南の教育のあり方、徹底して議論を

町長：いつでも出向いて話し合いをする

時間とエネルギーを
十分議論を

問 小・中適正規模検討委員会がまとめた答申をめぐり、2つの地域で議論が始まった。これは、津南の教育のあり方が問われ、方向性を決める大事な問題である。意見の違いがあるなかで、一致点を見い出せるところで、徹底した議論をつくすことが大事だ。それを支援するのが町の役割ではないか。

町長 民主主義のルールで、できるだけ賛同を得るべく努力をすることが大切だ。不明な点、疑問点があればいつでも出向いて話し合いをする。対策があれば出して頂きたい。今一番大切なことは、各学区民の多くの方々が議論し、方向性を明確にして頂くことである。**問** 県の教職員加配を手配するために、9月議会まで待つて頂くことの了解を得たいというが、住民は「何故そんなに急ぐのか」と言っている。時間とエネルギーをかけて十分議論をさせてほしい。



学校区懇談会

教育長 議論が重要だ。そのことは同感だ。個々の受け止め方に違いはあるが、保護者の大かたが、統合はやむをえない。地域の流れがそうなっている。その状況が答申に盛り込まれている。時間とエネルギー不足とは思わない。

吉野 徹 議員

町営住宅建て替え進捗状況は

町長：検討中である

PFI事業など
民間の提案については

問 振興計画のなかで平成21年頃に計画されている美雪町町営住宅建て替えの進捗状況は。又町民のなかから提案されている基本提案書（案）など今後の取り組みは。

町長 美雪町にある町営住宅は老朽化が進んでおり改築計画を考えている。

建設については、PFI方式も一つの選択肢であり入札方式とするか、公募型プロポーザル方式にするか、今後の課題と思っている。

中等教育学校への
配食費の負担について

問 津南の子供達も3割在籍している県立津南中等教育学校生徒の給食経費は町立の中学校と同様、町費で賄っているが、県や関係市町村との財政負担の議論はされているのか。

教育長 県内6校の中等教育学校は、所在地自治体負担方式であり、県からの経費負担は受けてい



建て替えが望まれる美雪町町営住宅

※PFI：公共施設等の建設、維持管理、運営を民間の資金を活用して行う手法

平成20年度 一般会計補正予算

- 主な補正予算の内容
- ・議会費 臨時事務雇賃金
 - ・総務費 コミュニティ助成事業補助金
 - ・民生費 地域介護、福祉空間整備交付金
 - ・農林水産業費 農山漁村活性化プロジェクト交付金
 - ・商工費 結東温泉源泉ポンプ入替工事
 - ・マウンテンパーク電線埋設工事

議会費	127万円
総務費	288万円
民生費	723万円
衛生費	217万円
農林水産業費	5,023万円
商工費	748万円
消防費	82万円
教育費	35万円

歳入	5,750万円
国県支出金	1,153万円
繰入金	29万円
繰越金	311万円
諸収入	

老人福祉費、農業振興費等により歳入歳出共に7,243万円の増額となり予算総額55億7,843万円となる。

平成20年度 特別会計補正予算



農山漁村活性化プロジェクト事業の導入により業務拡張の進む森林組合

補正額	530万円
総額	6億3,653万円

(主な内容) 新築住宅に伴う管渠整備工事

補正額	500万円
総額	1億2,440万円

(主な内容) 大井平水道水源井戸掘削工事等

補正額	2,614万円
総額	1億7,925万円

(主な内容) 前年度繰越金の処分

老人保健会計

「農業再生プラン」についての見解は

町長…的確な指摘・政策を評価

柱は価格保障と所得補償政策だ

問 日本共産党は「食料自給率の向上をめざし、安心して農業にける農業への転換を」とする「農業再生プラン」を提起した。見解を求めます。

町長 再生プランは現状の問題を的確に指摘し、提言には共感できる箇所が多々ある。

アメリカでは50%を超える農業補助金、EUでは80%以上の直接支払いがされており、関税でも日本は最も低いランクだ。

農業は市場原理では守りきれないことを、いかに国民から理解いただくか、農政の極めて大きな課題である。

問 価格保障・所得補償に必要な予算は現状の流通量や生産費・価格などから積み上げ9千億円程度とされる。また食料・農業政策を自主的に決定する権利「食料主権」を守るのは貿易ルール確立の世界の流れだ。

農委会長 再生プランは現状の農



俺たちに未来を

業問題や国際ルールを考えた的確で立派なものだ。米や他の農畜産物の価格が低迷しており適切な価格保障が必要だ。

国際的な食料需給の逼迫のなかで自給率39%は大問題。食料輸入の安全性をはじめ量と質の両面から食料安全保障の確立が大きな課題だ。

デマンドバスで商店街活性化を

町長…自らが打って出る事が大事

大割野商店街活性化対策は

問 山間地域等で移動販売業者の相次ぐ廃業で高齢者等が困っている状況である。デマンドバスでお客様を迎え入れる様にしたらどうか。

町長 自らが打って出る事が大事である。

問 NPO等の行政支援も考えるべきと思えるがいかがか？

町長 業者自らが打って出る事が大事であるが、曜日や時間等設定し運行されたら大いに利用して欲しい。

自立とはどのような姿か？

問 自立には財源確保が大前提であるが戦略を伺いたい。

町長 向こう17、20年間の財政シミュレーションに基づき進めており幸い水力発電所等大きな力となっている。

問 これからの取り組みこそが重要であると思われるが。

町長 JR東日本等を通じアスパラ収穫ツアー等、今後もアピール

して行きたい。

観光政策にメリハリを

問 全国菓子大博覧会で松屋、好月両店が受賞を果たした。瀧澤酒造、津南醸造も銘酒を生んでいる。他人事とせず祝福し町、地域の力とし、アピールを、又観光業者には津南の四季を映像でPRを。

地域振興課長 写真等で紹介している。

どうする畜産危機

問 危機感が増す一方どうするか。

町長 現行制度では対応し切れない。国県に対し更に支援を求めて行く。



取り戻したい商店街の活気

県内初 議会報告会

6月
17日・18日

8会場で参加者延べ121人

町内8会場で実施

議員16名が4班に分かれ、2日間、8会場で県内初方式の議会報告会を実施しました。各地区でありました御意見の一部を掲載致します。今後議会で対応を考えて参ります。



米原集落センター

- ・資材と燃料が非常に高騰しギブアップの状態であるが、農作物に価格転嫁できない。農業立町であり、国県に発信し支援を求めてほしい。
- ・予算が伴う議会の前に各集落の要望を聞けないか。
- ・統合問題は、住民の総意を求めるといってお任せ論ではなく、議員の発言力が求められている。

外丸ふれあいセンター

- ・外丸本村で水不足に備えボーリングして出た水はマンガンが含まれ悪質であり、しっかりと検査し是非を示してほしい。
- ・下平バイパス道に歩道を割野地内も含め設置してほしい。
- ・外丸小と三箇小の統合の話はないのか。

谷内公民館

- ・津南駅前が送迎の際、混雑し、危険でありロータリーを明確にしてほしい。
- ・中子行きバスは、11時から16時まで一本もなくお年寄りが困っている。
- ・児童にとつて、登下校の時間は成長に良い効果となっている。龍神太鼓が児童にとつて生活の核となっている。

文化センター

- ・人口1万3千人を目標と言いつながら施策が見えない。子どもを増やすと言いつながら津南病院に産婦人科もなく、これでは若い人が来て子どもを産もつという気になれないのでは。
- ・定住基盤の中で具体的な行動が見えない。
- ・津南町の総合的財政は津南病院を含め心配はないのか。

宮野原集落センター

- ・サルや熊の実効性のある被害対策をお願いしたい。
- ・役場前のバス停を屋根付きに改善してほしい。
- ・学校問題は若い人達の意見を大切にしなければならぬ。

辰ノ口公民館

- ・議会報告会を通じて行政と議会、町民が通じ合えるパイプ役になれば良いと思っている。
- ・商工会女性部が実施したレジ袋の配布を町内全戸にしたらどうか。
- ・公共交通体系について、津南は周りの集落から寂れてきてお年寄りが動けなくなるので公共交通網を確保してほしい。

船山公民館

- ・次の世代で農業をやるといふ担い手がいない。後継者対策を。
- ・船津川水系の水量が乏しく防災上も心配である。
- ・学校問題は少子化が元。育児手当の充実で子どもが増えた例もある。妊婦健診補助など生まれる前の段階での施策も重要と思つ。

十二ノ木集落センター

- ・十日町広域圏の中で十日町病院は町としてできるだけ近くをお願いしたい。
- ・町独自の10年20年先を見据えた農業政策の立案をお願いしたい。
- ・学校問題は、専門家によるパネルディスカッションを計画できないか。



シリーズ・町民の声 私もひと言



自己満足

正面 大津 昌史さん

「おい、サッカーの日本代表が津南にキャンプに来るってよ」「そういえば津南にも全国的に有名なサッカー場ができたらしいね。近くには野球場も作っているみたいだし」「明日見に行くか?」「だめよ、明日は友達と中津の公園に遊びに行く約束をしたから」「ああ、あの公園もずいぶん大きな公園になったよな」「そうよ、家族づれがバーベキューを楽しんだり、若い子の間では有名なデパートスポットになってるそうよ」「そう

いえば、近所の○○さんの息子さんが新しい温泉施設に就職が決まったらしいじゃないか」「毎年、観光客が増え続けて津南町は、今では有名な観光地なんですって」「来年には高齢者のための巨大な保養施設ができるみたいだし、津南町はすごいな」「これからも、今まで以上に、もっと住みやすく魅力的な町になって行くといいわね」「俺も十日町から津南へ引っ越してきてほんとに良かったよ」



「○○バカ」

船山新田 関口 政宏さん

私がこれから話そうとする「○○バカ」とは程度が並外れている(熱心な)意味と違って下さい。私は、津南に戻ってきて6年になります。この6年間に大勢の「○○バカ」さんに出会い一緒に時間を過ごしてきました。気付きましたね。津南には「○○バカ」さんが非常に多いことが。皆さんも小さなことでも、一つ熱心に取り組んでいるものがあるませんか。一つの目的に向かった時の熱意の高さに驚かされます。同じ目的を持った者同士

でも「オラはこうしらんだ」と自分の真を持つている姿が素晴らしいです。津南の人の性格でしょうか。そのエネルギーが津南の魅力で、町の活性化に大きな影響を与えていると思います。今はそのエネルギーを20代30代世代が勉強中といったところでしょうか。成果が出るのは遠い先の話になると思いますが、議員の皆様もそういう小さい芽にも耳を傾けていただける「おひとよしバカ」さんであってほしいと切に願っております。

編集後記

食の安全・安心が叫ばれている中、最近の食物に関する色々な事件には、ただただ、あきれてしまいます。中国ギョウザ事件、船場吉兆事件、中国産うなぎ偽装事件、飛騨牛偽装事件など、ここ数ヶ月の間に起きた大きな事件だけでもこれだけあります。昨年の一年を表現した漢字は「偽」でした。これでは、今年も「偽」になるかもしれません。日本の食糧自給率は39%といわれています。自給率を上げることも重要なことですが、食物の偽装など、あつてはならないことです。大人の世界でこんなことをやっていて、子供たちにどう説明したら良いのだろうか。食の安全・安心を守るには「自給自足」しか方法はないのか。くるか、自給自足時代(半)



おいしい自給野菜